



# れ

## レロレロと 舌をうごかし おしゃべり練習



かつて子育てをしていた人は皆やってきたことですが、赤ちゃんに自分の口を見せて、舌を出し、その舌を左右(上下)に動かしながら「レロレロ」するというのが遊び。これには赤ちゃんが「食べる」ための大事な要素が詰まっています。

赤ちゃんは、指をなめたり、自分の握りこぶしを口に入れたりしますが、食べ物を入る前段階として、手に持った物を口で確かめたり、同時に「あむあむ」と上下に口を動かすことも経験しています。

食べ物を食べるためには、上下の口の運動と共に、舌を動かす練習が必要なので、「レロレロ」と舌を動かすこの遊びは、その動作を促してもいいのです。

赤ちゃんは、「レロレロ」を見て、なんだか同じ動作をやってみたくなり、舌を「べーっ」と出したり動かしたりします。まねっこで身につけた動作は、口に入れた物を、自由自在に口の中で転がしたり、飲み込めるようになり、固形物を食べるための練習にもなるのです。また、舌を動かす機能は同時に「発語」の練習にもなっています。

赤ちゃんがまねてくれるまで「レロレロ」を続けていると、やっている大人の口の機能UPにも繋がります。

みなで「レロレロ」しませんか？